

2008年5月15日

速報

※このプレスリリースは、英語の原文から翻訳されたものです。従って、原文と翻訳との相違があった場合、原文を正式なものとしします。

ブランデスによる小野薬品工業株式会社に対する 1株130円の配当及び1000万株の自己株式取得の株主提案の取り下げのお知らせ

【サンディエゴ】ブランデス・インベストメント・パートナーズ・エル・ピー（以下「ブランデス」といいます。）は、2008年5月13日付で、小野薬品工業株式会社（大阪府大阪市、是金俊治代表取締役社長）（コード番号：4528 東証・大証第1部）（以下「小野薬品」といいます。）に対し、4月8日付にて提出した、同社の第60回定時株主総会における株主提案（以下「本株主提案」といいます。）を取り下げたことのお知らせ致します。なお、ブランデスは、そのクライアントである投資家を代表して、1997年より小野薬品の株式を保有し始め、現在の同社の発行済株式の保有比率は7.0%超です。

本株主提案の骨子は、①第60期の期末剰余金の配当として普通株1株当たり130円の配当（1株当たり90円の間配当金と併せ、第60期の配当金は1株当たり220円となります。）及び②株式総数1,000万株、取得価格の総額600億円を限度とした自己株式取得を求めるものでした。これに対して、小野薬品は、4月14日に株式総数550万株、取得価格の総額300億円を上限とした自己株式取得を、直近では5月8日に期末配当1株当たり112円への増配（1株当たり90円の間配当金と併せ、第60期の配当金は1株当たり202円となります。）を、それぞれ発表しています。これらの株主への利益還元策は、ブランデスが株主提案で求めていた金額のレベルには及びませんが、ブランデスは、小野薬品によるイニシアチブを評価しており、建設的な進展に敬意を表し、この度本株主提案を取り下げることと致しました。

ブランデスは、現在においても、資本コストを大きく下回るリターンしか産出していない余剰資本（現金、有価証券、投資有価証券を含む。）を小野薬品が留保し過ぎていると考えています。しかし、最近発表された小野薬品の上記の施策から、ブランデスは、小野薬品自身が余剰資本の存在を認識し、配当や自社株買いによって、今後も引き続き徐々に当該余剰資本を減少させ続ける意思を表明したものと考えています。この余剰資本の認識及び余剰資本の解消に向けた意思表明こそ、ブランデスが小野薬品に対して求めてきたことです。

本株主提案を取り下げる決断を行ったのは、小野薬品がこれまでに発表したイニシアチブにより、今後更なる株主への利益還元の改善に向けた多くの施策が実行されるものと考えたことによるものです。ブランデスは、小野薬品に対し、資本効率を改善するために引き続きリターンの高い案件への投資、配当や自己株式の取得及びその消却を進めていくことを求めていく所存です。ブランデスは、発表された自己株式取得計画の満額の

遂行及び取得された自己株式の速やかな消却が非常に重要だと考えています。ブランドスは、長期株主として、小野薬品が発表した施策等の今後の進展を注視し、小野薬品の全ステークホルダーの最善のために、小野薬品と建設的な関係を引き続き維持していく考えであります。

上記の内容につきましては、以下の点を前提としております。十分ご理解ください。本リリースは、小野薬品の株式の買受の申込や売却の誘因を意図するものではありません。本リリースは、発表日時点において得られる情報を基にしています。ブランドスでは十分な注意を払っていますが、その情報の正確性について保証するものではありません。また、本リリースは小野薬品の株価へ影響を与えることを意図したものではありません。

ブランドス：

米国に登録している投資顧問会社（住所：11988 El Camino Real, Suite 500, San Diego, California, 92130）。機関投資家と個人投資家からの預かり運用資産残高は、2008年3月31日現在約934億米ドル。

詳細は下記担当者までお問い合わせください。

Ray Lewis, Brandes Investment Partners, L.P.

Tel:+1-(858)-523-3588

Email: PublicRelations@brandes.com

###